

with UNESCO

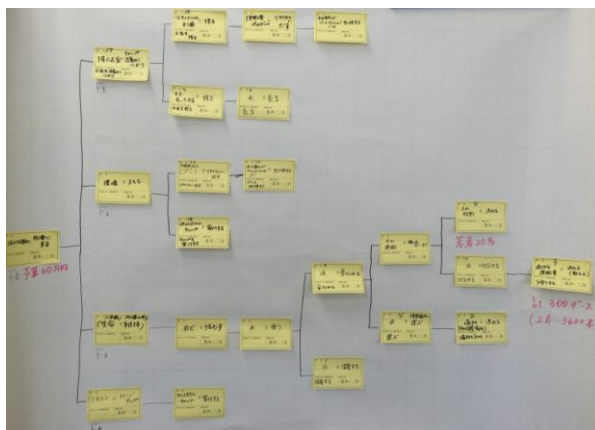
ユネスコ活動に VE 的思考を 活かす体験ワークショップを 開催

ESD (持続可能な開発のための教育) に VE を取り入れる

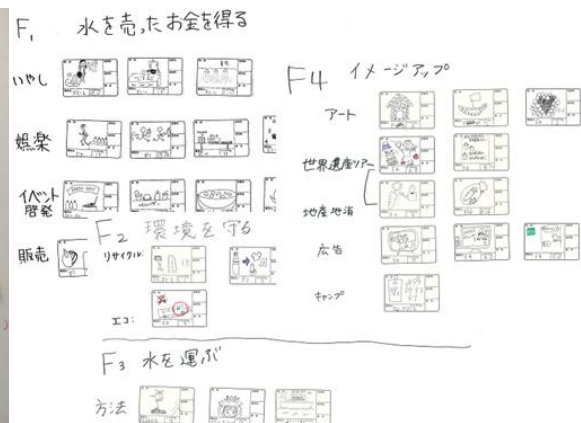
日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO の理念に則り、全国各地のユネスコ協会と様々な活動を展開しています。そのひとつとして、ESD=Education for Sustainable Development を通じて、これからの時代を担う若者が自ら前向きに課題解決できる力を身につけるための教育を推進しています。課題解決には、VE の大きな特長である創造的思考プロセスが有効と考え、日本 VE 協会は日本ユネスコ協会連盟と協力して、ESD に VE の考え方や手法を導入するための取り組みを行っています。

VE を知らないユネスコ協会関係者にどうやって関心を持ってもらえるのか？それにはまずは体験してもらうことが大切と考えました。そこで、ユネスコ協会青年会員を対象に、《災害用の備蓄水を各地のユネスコ協会に寄付された想定し、それを使ってユネスコ活動資金を捻出する方法》を課題として設定し、VE プロセスを使って体験してもらうことにしました。

遠くは仙台や関東から 4 名の青年会員が集まり、3月 19 日～20 日の 2 日間をかけて VE を体験しました。講師は、日本 VE 協会参与で早稲田大学創造理工学研究科の澤口学客員教授。企業や学生への指導経験は豊富な澤口先生ですが、全員が 20 代女性というのは初のケースでした。「エンジニアリング」という堅いイメージの VE をどうやってわかりやすく伝えるかが最大のポイントでした。



VE の特徴である「機能系統図」を作成



最終的なアイデアの具体化

難しそう・・・でも実際やってみると面白い！

はじめは VE の概論と実際の手順を説明した講義で、VE はモノづくりの現場で誕生した手法ではあるが、この考え方は私たちが直面する様々な問題や課題に求められる解決能力をつけるために大切な創造的アプローチであること、そして VE の実施プロセスの流れを確認しました。やはり、ここまでは話を聞いてもなんとなくピンときません。

次に、与えられたテーマで演習が始まりました。課題に対して、VE の基本原則である機能本位の思考「何のためにそれが必要か？」という観点に遡り、目的に対する機能を挙げて整理し、前ページ左の写真の「機能系統図」を作成。その目的を達成するためのアイデア出しを行い、それらを 4 人で話し合いながら組み合わせ、実際にポンチ絵にしてみます。そうすると、どんどん議論が活発になり、最後には思いもよらない斬新な方法が出され、まとまりました。

最後は 4 人で VE 提案を発表。寄付された水を活用して、生命を維持する、ユネスコ協会のキャンプ活動に使う、環境を守る、そしてユネスコ協会のイメージアップを図るという目的を達成する新鮮なアイデアが盛り込まれた提案でした。ここまですると、最初は漠然としていた VE も、「やってみると面白い！」に変わっていました。

体験ワークショップを終えて

今回の参加者からこのような感想をいただきました。

- 座学の段階までは、VE の概念を理解できているか不安だったが、実際アイデアがこのように形になると実践で活かせると思った。
- ユネスコ活動の企画を考える時、これまでは経験や思いつきのアイデアから始まっていたが、VE のように機能に立ち返ったプロセスでアイデアを作り上げていくという作業を体験し、新鮮だった。
- VE の考え方は新しい企画を考える時や作業工程にも使えると感じた。
- VE のプロセスを経て企画を進めると、これまでやっていた範囲では思いつかなかったであろう結果に至ったことがとてもよかった。

澤口先生からも、「ひとつひとつはそれほど変わり映えしないアイデアでも、組み合わせてみるといろんな可能性が広がリトータル的にうまくまとまり、それを 4 人のグループで力をあわせて行ったことが良い結果となった」との講評をいただきました。

今後も日本ユネスコ協会連盟と引き続き協力し、さらに多くのユネスコ協会や学校関係者に VE の有効性を実感していただき、その先には ESD 活動の場に活かしていただけるよう、このような企画を続けていきます。



VE には ESD を推進するための有効なプロセス手法があります。

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

〒154-0012
東京都世田谷区駒沢 1-4-15
真井(さない)ビル 6階

☎ 03-5430-4488
FAX 03-5430-4431
info@sjve.org
<http://www.sjve.org>
お問い合わせの際「ユネスコ VE 体験ワークショップのレポートを見た」とお伝えください

Society Of Japanese Value Engineering
 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

VE の普及を通じた
コラボ・プロジェクトにより
お互いに発展し
より大きな社会貢献に
つながることを目指します

お気軽にご相談ください